

## 第26回 放送番組審議会 議事録

- 開催日：2013年3月29日（水）10:00～13:00
  - 場所：ジェイコム札幌 会議室
  - 出席者：番組審議委員7名中5名出席（2名欠席）
    - ①山本 強（会長）北海道大学 大学院 教授
    - ②星野尚夫（委員）札幌観光協会 会長
    - ③讃良美規（委員）㈱ラ・ウィル 代表取締役
    - ④澁谷 猛（委員）㈱常ロアトム 顧問
    - ⑤富樫豊子（委員）(有)北海道人材バンク 代表取締役
- J:COM 札幌 代表取締役社長 岡田 茂  
J:COM 札幌 担当部長 兼 札幌メディアセンター長 坂本 貢  
J:COM 札幌 管理部（事務局） 雨尾 俊英

### 記

#### 1. 開会の辞（山本会長）

ここ数年、J:COMはサービスエリアを拡大し順調に伸びているとの印象を受けている。忌憚のないご意見をいただき、議論していきたい。先日、タイに行く機会があり、北海道“HOKKAIDO”ブランドの人気の高さに驚いた。アジア圏では珍しく雪が降り積雪する大都市の札幌、そして北海道の価値を見出しその発展を願いたい。

#### 2. 出席者自己紹介（各委員）

自己紹介、近況報告

#### 3. 当社社長挨拶（岡田社長）

当社の業績報告として、2012年度の売上がはじめて、念願の100億円を突破した。一重に、地域の皆様に支えられ皆様のご理解とご協力の賜物であり大変うれしく思うと同時に、札幌におけるメディア企業としての責任をひしひしと感じている。日頃のご愛顧に感謝し申し上げ、放送番組への忌憚のないご意見を頂戴したい。

#### 4. 当社の近況報告（坂本センター長）

- ①J:COM札幌の対象世帯・加入世帯数の推移
- ②J:COMグループ全体の加入世帯数の推移
- ③2013年夏からの北区（約40,000世帯）のサービスエリア拡大

## 5. 当社の番組編成について（坂本センター長）

### （1）放送形態の変化

2012年4月から第2コミch（10ch）がスタートし、2012年8月から第1コミch（11ch）もHD化され、コミchはHD2チャンネル体制となった。また緊急速報(気象・災害・警報)が、画面上に文字スーパーで強制表記となり、加えて、同時録画装置を導入し92日間分の番組を常時保存している。

### （2）プロ野球 北海道日本ハム戦 今年もGAORAで放送決定。

北海道日本ハム戦：74試合（北海道日本ハム主催試合72試合、阪神主催試合2試合）  
試合開始から終了まで完全放送。

※FOXbs238でも、今年からパリーグ戦を放送することになった(元々は映画・ドラマch)

### （3）特別番組 第64回さっぽろ雪まつり「雪像ミュージアム2013」

全国J:COM局950万世帯に生放送実施。2/9（土）13:00から14:30までの1時間30分番組として大通1丁目会場から生放送。今年は、初めて東京本社との共同制作となった。

### （4）全国統一生放送番組「つながる GO!GO!」

東京スカイツリー内にあるJ:COM ワンダースタジオから、J:COMグループ全局へ生放送がスタートして2年目を迎えた。今後、日本ハムファイターズの協力により、ファイターズ・ガールも生出演予定。

### （5）自社制作番組（コミch視聴可能世帯数 404,000世帯）

#### ①Hometownさっぽろ（25分番組）

北海道新聞社協力の「道内映像ニュース」や、北海道警察、札幌市消防局、北海道広報課、札幌市広報課協力の「広報だより」に加えて、四季折々の北海道のイベント風景などを紹介する域密着型情報番組

#### ②ファッションストリート（30分番組）

バラエティ・パブリシティ番組の先駆けとして、特に若い年代層に支持されており、20年以上継続放送している長寿番組。

#### ③月曜サポスタ（30分番組）

5月から「GO !!コンサドーレ」に改題予定（石屋製菓 番組スポンサー決定）

2002年4月より継続中のコンサドーレ札幌のサポーターによる手づくり感覚の番組。

#### ④さっぽろ見聞録（15分番組）

札幌市内の歴史的建造物などを紹介するミニ紀行番組。J:COM全局で放送されている番組。

#### ⑤四季食彩（10分番組）

毎回テーマを決めて、市内のB級グルメ的な札幌のお店を紹介するグルメ番組。

#### ⑥札幌の美食店（5分番組）

札幌の高級店を中心に「ちょっと贅沢なひととき」をコンセプトに制作したお店情報番組。映像クォリティの高さが好評。

## ⑦特別番組

- ・2012年6～11月 札幌市内中学生職場体験学習の受入実績：33校187名)
- ・2012年 8月 さっぽろ旭山音楽祭 さっぽろ旭山記念公園を舞台に市民音楽祭を制作
- ・2012年10月 札幌マラソンダイジェスト番組（同時にNET回線UストリームLIVE放送）
- ・2012年12月 スペースシャワー×J:COM 山崎まさよしLIVEを全国のコミch生放送
- ・2013年 2月 第64回さっぽろ雪まつり特別番組 生中継 全国に番組配信

★番組アワード報告 2011年制作「一人でなりとも～北の龍馬列伝」番組が高い評価

- ・2012年度 日本ケーブルテレビ連盟 番組アワード「奨励賞」 受賞
- ・2012年度 ヒストリーチャンネル 番組アワード「審査員特別賞」 受賞

## 5. 質疑応答・番組に対する意見交換

- <委員長> D-lifeで放送されている 健康バラエティ「ドクター・オズ・ショー」は アメリカで大ブレイクした番組。今後、日本でも大ブレイクするはず。
- <委員> 日本の健康医療番組は、変に深刻さを煽って脅かすところがあるので、明るくバラエティー・タッチの番組には好感が持て、安心して見る事ができる。
- <委員> 健康・医療は、誰にでも興味があり、良いコンテンツである。
- <委員> 病院でも、J:COMを視聴できるようになれば良い。
- <委員> ヒストリーchで、NHK制作番組を放送しているが、各チャンネルで教養番組を共有して放送することは、相乗効果がありよい事。(逆に、韓国ドラマは目に余る)
- <委員長> 3桁の番号は覚えることが大変。チャンネル番号というのは、実はとても重要で、リモコンの数字ボタンの位置で覚える事が多い。例えば、D-lifeは縦一列に2・5・8。
- <委員> 一同、感嘆の声
- <J:COM> 違った視点からのご意見で参考になる。
- <委員> 日本映画の興行が、順調であるようだ。映画監督も若返り、エンターテインメント化が進んでいる。映画館の環境も良くなっている。
- <委員> お金をかけて製作するハリウッド映画もネタ切れかも。リメイク版も目立つ。
- <J:COM> J:COMグループの映画配給会社アスミックエースが、今年「しあわせのパン」の第2弾として、ワインを題材にした道内ロケ映画を製作予定。当社としてもオフィス・キューと協力のもと、コミchでも応援する予定。
- <J:COM> 日本ハムファイターズとの関係が強固になり、昨年制作した「ファイターズ・ストレッチ」に続き、北海道新聞社と協力をして新たなファイターズ応援番組の制作準備に入った。 先日は、大谷選手の独占インタビューを放送した。  
「ファイターズを応援する会」に正式に入会し、名刺にもロゴをプリントする。
- <委員長> 名刺にロゴを入れるのは効果大。良いこと。
- <委員> ファイターズも、札幌ドームの動員数を増やすことが課題だから、宣伝効果と

して良いこと。

<委員> ドームへの交通アクセスは大きな課題であり、またドーム周辺に他の施設がない事も大きな課題である。

<委員> 札幌ドーム周辺の「アミューズメントタウン構想」はあるが、住宅街という立地も含め、課題は多い。

<J:COM> イベントの集客関連では、今年の雪まつり大通会場1丁目では、浅田舞スケートレッスンをはじめ、ステージイベントも数多く実施し、大通1丁目会場としては、過去最大の集客数となった。(さっぽろテレビ塔の集客動員へも相乗効果あり)

<委員> イベント運営では、雪まつりでもマラソン大会でも、とにかく警備コストが課題。

<委員長> 札幌は、車社会なので駐車場確保が大きな問題だが、更にレンタカーのシステムにも問題あり。顧客向けのシステムが外国人に対応していない。海外ではガソリンスタンドを例にとっても、顧客向けのシステムが整備されており、また、ホテルにCATVとWiFi環境は当たり前だが、日本はまだ遅れている。札幌の立派な老舗ホテルよりも、全国規模の駅前ビジネスホテルの方が、サービスのクオリティが高く、きめ細かいサービスが目立つ。例えば、全国規模同系列ホテルでは、WiFiのIDが同一。つまり、全国どこへ行ってもID設定が不要なのでWiFiユーザーにとっては大変便利。これも顧客の心をつかむ、きめ細かいサービスのひとつ。

<J:COM> 当社としても学ぶべきところがあり、そのひとつが「おまかせサポート」。

<J:COM> マガジンの店頭販売は堅調で、同内容の他誌に比べて、金額も半額程度である。

<委員> 同じ内容なら、当然安い方に手が伸びる。もっとアピールするべき。

<委員> もしかしたら、“表”でアピールするのではなく、facebookやツイッターを活用する方が広まるかもしれない。

## 6. 昼食

「2013年度コミ c hダイジェスト版」を視聴しながら昼食。

## 7. 閉会

以上